

白山ふるさと文学賞

第二回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生中学年詩の部 優秀賞

私のひとり

鳥越小学校五年

山本 やまもと

暖 ひなた

受賞の言葉

「まわりの人に支えられている。」という祖父の言葉と一冊の本が、家族の事を考えるきっかけになりました。家族、まわりの人たちに思いやりをもって、多くの「だれかの一人」になれるよう当たり前前の生活を大切にしていきたいです。

ひとり
私のことを わかってくれる人
お母さん
うれしい時 悲しい時
そばでやさしく話を聞いてくれる

ひとり
私のことを たすけてくれる人
弟

さがし物をしている時 ころんだ時
すぐにとんできて「大じょう夫」と声をかけてくれる

ひとり
私のことを 守ってくれる人
お父さん
どんな時でも 頭をなでて安心させてくれる

もっと もっと
ふやしていこう
私のことを わかってくれる人
だからね
やさしくしよう
たすけてあげよう
そばにいてあげよう
だれかの ひとりになるために

そうしたら
ふえるよ きつと
私の ひとり

